

令和元年度

報

決

告

算

令和元年度の町の決算状況について特集してお知らせします。※文中の数値は概数で記載しています。

歳入歳出決算は4億5100万円の黒字

一般会計

一般会計は、道路の整備や教育、ごみ処理などの身近な生活全般の経費を賄っています。

令和元年度の決算は、歳入120億5400万円、歳出115億8200万円となり、ここから令和2年度に繰り越して使用する2100万円を差し引くと4億5100万円の黒字決算となりました。

町の貯金である基金残高は前年度比2億900万円増の21億2500万円となりました。

歳入

国・道支出金増

皆さんから納められた町税については、表1の通りとなっています。

税目	令和元年度決算額
個人町民税	5億7,421万円
法人町民税	1億9,682万円
固定資産税	14億8,053万円
軽自動車税	3,568万円
町たばこ税	1億5,955万円
入湯税	1,717万円

歳入全体では、前年度比720万円の増収となりました。主な増収要因は、幼児教育・保育の無償化やウポポイ周辺整備事業により、国庫支出金2億2800万円増となったほか、道支出金は、2億1400万円増となっています。

一方、主な減収要因は、ウポポイ建設用地の国への売り払いが前年度で完了したことから財産収入が2億2900万円の減となったほか、基金からの繰入金金が5億6300万円の減となっています。

歳出

普通建設事業費

7億2000万円増

歳出全体では、前年比2億4300万円の増加となりました。

普通建設事業費が、2020年7月12日に開業したウポポイの周辺整備に伴う白老駅自由通路整備工事や、インフォメーションセンター1建設工事などの増加により、7億2千万円増となったほか、特

別・企業会計への繰出金の1億3700万円増などが主な増加要因となっています。

一方、減少要因としては、自立支援給付費の障害福祉サービス費の減により、扶助費が1600万円減のほか、公債費が4億700万円減となっています。

特別・企業会計

特別会計2億8000万円黒字・企業会計は資金不足なし

また、一般会計とは別に、下水道や介護保険などの特別会計、水道と病院については公営企業会計を設置して運営しています。

特別会計は、一般会計からの繰入金を含め、全体で2億8千万円の黒字となり、7会計すべて黒字もしくは差引収支額はなしとなっています。

一方、企業会計は、積立金、留保資金のほか、一般会計からの繰入金で補てんしたことからの、資金不足は発生していません。